

第3回阿賀野市道の駅整備検討委員会 会議録

開催日時	平成29年6月28日(水曜日) 午前14時00分から～15時50分
開催場所	阿賀野市役所 4階402、403会議室
出席委員 (12名)	池田委員長、吉村氏(佐藤(秀)副委員長代理)、山崎氏(稲毛委員代理) 波多野委員、大澤委員、五十嵐委員、小林委員、佐藤(政)委員、加藤委員、 渡邊委員、笹岡委員、高橋委員
欠席委員 (1名)	百都委員
事務局	小林産業建設部長、 総務部 市長政策課 荻部課長、深澤主事、危機管理課 長川課長、 民生部 社会福祉課 星課長、生涯学習課 遠藤課長、 産業建設部 農林課 小林課長、商工観光課 鈴木課長、建設課 佐藤課長、松 崎課長補佐、池田係長、小林主任、山崎主事
会議事項	<ul style="list-style-type: none"> (1) 開会 (2) あいさつ (3) 自己紹介 (4) 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> 1) 現地調査(川場田園プラザ)の報告 (5) 議題 <ul style="list-style-type: none"> 1) 阿賀野市「道の駅」基本構想について 2) 「道の駅」整備計画について 3) 具体的な施設整備について (6) 閉会

あいさつ

小林 本日はご多用の中お集まりいただき有難うございます。
産業建設部長 お陰様で、「道の駅」基本構想については、委員の皆様からご意見をいただきましてようやく取りまとめることが出来ました。この場をお借りして感謝を申し上げます。
今年度は、整備計画を策定する予定であり、基本構想に基づきまして、どのような施設を設置し、どのような機能を導入すべきかを検討いただきたいと思います。
いやしの空間、にぎわいの空間、まもりの空間の備わったバランスの良い新たな「道の駅」の建設に向けて皆様の貴重なご提案をいただきながら進んでまいりたいと思いますのでよろしくお願い致します。

報告事項

事務局 **資料 1 に基づき説明**
委員長 有難うございました。
昨年度、委員の皆様と現地へ視察をしてまいりましたが、最初から出来上がっているものではなくて、少しずつ段階的に状況を見ながら拡大していった非常に特徴的な「道の駅」だと思います。特にミート工房については、全国的にもテレビなどで話題となっています。この施設がとても売りになっており、アイデアとマネジメントが非常に大事だと改めて感じたところでございます。阿賀野市のこの「道の駅」にもいろんな形で活かしていければと思います。

議題

1) 阿賀野市「道の駅」基本構想について

(説明)

事務局 **資料 2-1～2-3 に基づき説明**
委員長 有難うございました。
1年掛けて皆様と議論して出来上がった基本構想でございますが、ただいまの説明で質問等はございますでしょうか。

(質疑応答)

委員長 基本構想は、パブリックコメントを終えて議会への報告をされたということで、この後公表されるということでいいか。
事務局 今回の委員会が終わり次第、「資料 2-3 基本構想」を公表したいと考えている。

2) 「道の駅」整備計画について

(説明)

事務局 **資料 3 に基づき説明**

委員長 有難うございました。
ただいまの説明につきましてご質問等はございますでしょうか。

(質疑応答)

質疑なし

委員長 整備計画とはどのようなものなのかという内容でございましたが、昨年度、先程も説明がありました基本構想として、ぼんやりだけど芽を作り上げた。それをさらにどのように膨らませて実行するのか、具体的にどんな形にするのかということが整備計画での議論になろうかと思えます。

この資料の中で「特に重点的に具体的な導入施設について」議論をお願いしたいという事務局のお話もございます。

具体的にどういうものがほしいか、どのような阿賀野市らしいものが出来るのかご議論いただければと思います。

具体的な施設整備について、説明いただき、委員の皆様お一人おひとりからの部分でも結構ですので、意見をいただきたいと思えます。

3) 具体的な施設整備について

(説明)

事務局 **資料4-1、別冊に基づき説明**

委員長 有難うございました。

これより、委員の皆様の意見をお伺いしたいと思います。順番にお願いします。

(意見)

委員 ・「道の駅」ということで、休憩機能やトイレは充実した広めのものがあるとよい。市民はもちろん、市外の方が立ち寄ったときに、リピーターとしてまた寄ってみようという気持ちになるのではないかな。

・また、滞在時間が長くなるにつれて、多目的スペースや情報発信スペースに立ち寄っていただくことで、地域の情報発信や活性化につながる。これから育てていくということも考慮すると、トイレ等の充実を進め、農産物のアピールができるとうよい。

委員 ・阿賀野市には子どもを遊ばせるスペースがないと感じている。この機会に、ぜひ多目的広場を充実させてほしい。大きな遊具があると子どもが自由に遊び楽しんでくれるので、そこを充実させれば親子連れや若い人たちも阿賀野市に遊びに来てくれるのではないかな。

・また、農産物の直売所はぜひ充実させてほしい。

委員 ・「道の駅」はトイレや駐車場は24時間使えるので、最近はそこで宿泊する人も多いが、24時間使える施設はトイレと駐車場だけである。販売所は夕方

になると閉めると思うが、22時とか24時まで開いている施設もあるとよい。

- 委員 ・居酒屋がある「道の駅」もあり、居酒屋で飲んで、風呂もあれば風呂屋に入って、車で泊まって、朝に出発するというのが流行っているらしい。
- 委員 ・ソフトバンクのPepper やシャープのロボホンなどの案内ロボットを屋内に置いて、案内するようにしたらよいと思う。屋内をロボットが案内する「道の駅」はまだないと思うので、親子連れも喜ぶと思う。
- 委員 ・説明では、にぎわい・交流機能のスペースがあまり取れず、多目的広場の方に力を入れるように感じた。
・地元企業などの今流行のもので、専門家に任せる部分も必要だと思う。限定品やオリジナル商品など民間も入れられたらいいのではないか。
・また、オートキャンプ場やバーベキューなどができる滞在型の施設もよい。子どもたちが来れば親も来るので、阿賀野市外からミニ遠足のような形で利用してもらえる魅力ある公園づくりができるとよい。駐車場やトイレの心配をすることなく、一日遊んで帰れるというのが理想だと思う。
- 委員 ・京ヶ瀬地区は地域イベントがなかなか開催できず、コスモス京ヶ瀬まつりを図書館で開催しなければいけなかったりするので、そういうものを開催できる公園づくりが必要だと思う。1.6haの中に駐車場と箱物を建てるということで、見附市の「パティオにいがた」をもう少し小さくしたものになるイメージを持ったが、その中であれもこれも詰め込むのは難しいと思う。
・人口減で労働者人口も減っていくので、あれもこれも入れて後でまわらなくなり、空きが出るということにならないようにしてほしい。
・イベントなどでテントを立てる作業は大変なので、公園に屋根があり、その下で簡単にブースが設置できるとよい。
・壁を明確に設けず、可動型の施設にするなど、フレキシブルな施設の方が今後のことも考えるとよいのではないか。
・災害などの緊急時に対応する資源のストックや置き場所も必要だと思う。
- 委員 ・「道の駅」に観光が集中してしまうのが心配である。阿賀野市をまわってもらいたいというのが薄くなってしまっているのではないか。アピールするのはよいが、ここが素晴らしい施設になっていろいろな業態が入ってしまうと、店を持っている人が移ることも考えられる。
・そのため、阿賀野市をまわる、ここに行ってもらいたいという情報をもっと増やした方がよい。
・各地区で様々なイベントがあるが、阿賀野市が一つになってイベントができるような施設になったらよい。
- 委員 ・「道の駅」の運営は、阿賀野市が100%出資の株式会社にするのか、第3セク

ター方式を取るのかなど、どのように考えているか。

- 事務局 ・「道の駅」整備計画の中で、運営等の部分についても今年度、検討していく予定である。
- 委員 ・民間と市の考え方の違いもあるので、運営主体を先に決めると中の施設や物産館についても違った考え方ができるのではないかと。中に入れるものを先に考えたとしても、運営主体が決まった後であれば違う、これが違うと行ったり来たりすることになるのではないかと。
- 委員長 ・運営主体は非常に大事なポイントであり、委員会の中で議論する必要がある。運営形態によってどうなるかという部分も含めて、ご意見をいただきたい。
- 事務局 ・運営者の考え方によって、整備の内容が変わる場合も考えられるが、運営者を決めるのは、オープンの際にならないと難しい。ただ、民間事業者で興味を持っていただける方から意見聴取を行いたいと考えている。それらを設計、計画、整備に反映していきたいと考えている。
- 委員 ・トイレがとても大事だと思う。トイレがきれいだからあそこに行こうという差別化は始まっている。男性より女性の方が時間はかかるので、そのあたりを考えてほしい。
- ・「道の駅」を通して阿賀野市に来てもらうように情報を提供するという事なので、事例にある観光コンシェルジュが常駐するというのはとてもよいことである。百万円単位でお金がかかるが、これをすると絶対に違うと思うので是非、考えていただきたい。
 - ・雨天や真夏でも遊べる空間を確保し、阿賀野市は冬場よりも夏場で勝負していくところだと思うので、屋根付きで日影があり、ちょっとの雨をしのげるという場所はぜひほしいと思う。
 - ・阿賀野市の「道の駅」は後発なので、付加価値をつけていく必要がある。その付加価値として、阿賀野市の場合は温泉がある。五頭温泉郷があり、五頭温泉のお湯で作っているパンもある。きれいな水というのが共通して言えることであり、健康をキーワードにしていくのがよいと思う。
 - ・また、高校や大学と一緒にやっていくというのもよいと思う。阿賀野高校や五頭薬草園に絡んでいる薬科大学などと協力できるとよい。
 - ・また、文化面で考えると、阿賀野市にはいろいろな方がいる。阿賀野市はコツコツというのがキーワードだと思っていたが、ハイカラなものが好きな地域ではないかと思う。そういった地域性や文化もすごいということをアピールできるとよい。
- 委員 ・「道の駅」の施策は国土交通省の道路局がやっており、「道の駅」自体も二十数年になるが、「道の駅」のイメージは全国どこに行っても一致していると思

っている。なぜかというと、先発の「道の駅」は地元の方が一生懸命使っていて、それが口コミで広がって段々大きくなっているというイメージである。それが全国的に共通の「道の駅」というブランドとして、育っていると感じている。

- ・最近では、全国各地に結構な設置箇所があり、ほかの地域との差別化をキーワードにしていく必要があるということと、高校や大学という話もあったように、違うところと連携をして「道の駅」を活用していくというのがトレンドになっている。
- ・全国的な少子高齢化という課題の解決のために、地域の課題は何か、地域のニーズは何かということに答えるために、「道の駅」にそういう機能を持たせて工夫しているところもある。基本構想の中でそういった議論をしていると思うが、連携や工夫というキーワードの中で具体的なものを検討していけば一つのヒントになるのではないかと。

- 委員
- ・基本方針1に「子育て世代と高齢者が集い」と書いてあるが、資料からはどうやら高齢者が集うのかが見えないように感じた。しかし、皆さんの意見から温泉、健康という言葉や、地域のニーズに応えるためのものという話も出たので、ぜひ今後も考えていけたらよい。
 - ・基本方針3には「まもりの空間」という防災面の話が出ているが、防災機能のところだけ他と比べて書きぶりが違う。参考資料には備蓄、水道、電力、資材、用具の保管ということが書かれている。防災機能のイメージが、一時的に集まって一晩二晩過ごすというイメージなのであれば、ぜひ通信設備を強化してほしい。災害があったときには何が壊れるかわからないし、どれくらい人が集まるかもわからないので、強化しておいた方がよい。
 - ・Wi-Fiは建物内だけではなく、多目的広場でも拾えるように、キャリアは遠くではなく、そこに基地局があった方がよい。通信の強化ということを考えてほしい。

- 委員
- ・「道の駅」とはいうものの、会議や打ち合わせで使えるような、「道の駅」で集まってイベントの打ち合わせなどができる部屋を作ってはどうか。

- 委員長
- ・一通り意見をいただいた。きれいなトイレはどこの施設でも不可欠である。特に女性は汚いトイレだと嫌がるし、子どもも嫌がるので、ここは力を入れるポイントだと思う。
 - ・情報発信というところで、地域情報の中にAIや最新のIT技術の導入などが挙げられた。
 - ・農産物や観光、イベントなどがあり、阿賀野市らしさというところではハイカラ文化という意見もあったが、文化というのはコンテンツとしても面白いかもしれない。
 - ・にぎわい・交流機能については色々な意見が出たが、農産物の直売、多目的広場のあり方、全天候型で使い勝手がよく、あまり区切らないで自由なアイ

ディアで使えるスペースという意見、逆にここにみんな集まってまちの中がすっからかんになっては本末転倒だというのはその通りだと思う。市外の方をどうやって市内へ引き込むのか、それを回遊につなげていくかがポイントになる。

- ・防災について、委員の方からも具体的な指摘があったし、市としても防災計画は別途検討しているので、その形によってはここをどう位置付けるのかという議論を重ねなければいけないと思う。
- ・大雨が降ったときに浸水被害、河川の増水がどの程度あるのか詳細は把握していないが、駐車場に限らず全面がアスファルトで覆われているというのはゆとりがないと感じる。よくあるパターンでは、透水性のために芝があり、タイヤが停まる場所だけブロックがあるという駐車場もある。そのようなことも必要があれば検討してはどうか。
- ・子育てファミリーというキーワードが出てくるが、単純に休憩できるということより一歩進んで、今は公園でも保育園みたいなことができるというように法律が緩和されているので、子育てファミリーが子育ての相談ができたり、情報が得られたりといった一歩進んだ子育て施設といったことも検討してはどうか。今後、思いついた段階で事務局の方に言っていただくか、次の委員会で発言していただきたい。
- ・道路交通情報についても具体的な話はなかったが、これは普通に道路交通情報ということだと思う。今はWi-Fiというのは人の集まる場所には必須だと思うので、道路交通情報に限らずフリーのWi-Fi環境ということを考えてほしい。
- ・災害情報提供機能としてのスペースも検討されているが、常時災害があるわけではない。そういったスペースの活用なども複合的に考えられるので、今後の検討のテーマにできると思う。

事務局 ・意見をいただいた整備や提案については、今後検討して次回の検討委員会で何らかの形でお示ししたいと考えている。

(終了)

■ 検討委員会の様子

